



佐藤 ひさよし 後援会 News

発行：佐藤 ひさよし 後援会・大泉町民懇話会

後援会事務所：坂田1-1-1 (パナソニック構内) TEL：0276-61-9926
自宅：仙石2丁目5-21 ~お気軽にご意見・ご要望をお寄せください！~

夏も終わり、秋を迎えて、日課である朝晩の愛犬の散歩も寒さを感じる日が多くなってきました。季節の変わり目で気温の変化が大きい季節ですので体調管理はしっかり行っていただきたいと思います。

さて、Panasonic正門から南に続く仙石の道路にある桜の木の多くが伐採されました。

私が三洋電機に入社した25年前には、桜がトンネルのように咲いており、とても綺麗だったのを覚えています。しかし、桜の木も老木になり、さらにはクビアカツヤカミキリという害虫に侵され安全性を考えれば伐採は致し方ないことだと思います。

悲観することなく今後、どのようにしていくのかは地域の皆さんの声を聴きながら考えていかななくてはなりません。仙石の桜だけではなく町内の樹木管理には大きな費用が発生しています。緑が多い方が気持ち的にも環境的にも良いことではありますが、管理費用とのバランスを考慮しながら樹木の在り方を検討していこうと思います。

9月定例会ではこんなことが決まりました



内容をチェックし全ての議案に賛成しました

9月 定例会 会期：令和4年9月 6日～22日

条例関係等・・・ 2件 R3決算・・・ 6件

補正予算等・・・ 5件 その他・・・ 4件

合計 17件

この中から1つを Pick up

Pick up①

■議案第37号

「令和3年度大泉町一般会計
歳入歳出決算認定について」

令和3年度一般会計(大泉町の一番大きな財布)の歳入総額は、約152億1211万、歳出総額は、約144億1668万円となり、約7億9542万円の黒字決算となりました。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症に対する取り組みが多く、9回もの補正予算も組まれ、ワクチン接種に加え様々な支援策が行われました。

9月の定例会では、令和3年度に行われた町の事業が適正に行われ、事業に効果があったのかを3日間にわたって調査をしました。

住民課窓口では以前から提案していた「キャッシュレス決済」や「書かない窓口」などが開始されました。また、職員の感染拡大防止のためにオンライン会議の環境整備やテレワークの試行運用も行われ、デジタル化が進みました。

さらには、財政の健全化と事務の効率化を継続的に図るための第7次行政改革大綱が策定され、これに関しても私が提案していた時間軸の在り方についても反映されました。

その他にも、デマンド交通のドアツードア方式での運行が始まり、利便性の向上も図れましたし、環境政策や学童保育の受入れ時間の延長も開始され、皆さんからいただいた声を基に訴えてきたことが形になってきたのを実感しました。

町立保育園の民営化について考える

入園児童数の割合と町負担額 (R4.3.1)		
	児童数の割合	町負担額 (1人あたり年間)
・町立保育園	22% (287人)	114万円
・私立保育園 ・認定こども園 ・幼稚園	78% (992人)	29万円

85万円の差

そこで、民営化(正確には公私連携型保育所：町と保育事業

また、町立保育園の施設は老朽化が進んでいるため今後、施設改修に多額の費用発生が見込まれます。

なぜ、民営化が必要なのか？
町の見解としては、町立保育園に通う子どもと私立保育園に通う子どもでは1人あたりの町負担額に大きな差が生じているため、全ての子どもたちに同等の支援になるようにしたい。

地元新聞でも記事になり、お騒がせをしている町立保育園の民営化について考えてみたいと思います。

町立保育園の民営化はなぜ必要なのか？

老朽化した町立保育園の施設改修費用
H28年～R37年の40年間で、 建替えに伴う費用・・・8.7億円 大規模修繕費用・・・4.5億円 合計約13.2億円の施設改修費用が発生

さらに、存続させる北保育園では、一時保育、病児・病後児保育、休日保育、延長保育や特別な保

町の説明では、シフトした財源を使って、給食費、副食費、オンライン授業に関わる備品整備に充てていきたいとの事です。

私が試算したところ、民営化し、財源をシフトをすることで、1人当たり年間、次の範囲とすると、
・0歳～15歳：約1万6千円
・0歳～18歳：約1万4千円の財源が確保でき、子ども子育て支援が拡充できます。

者が協定を締結し運営します。)することで、国、県からの補助を受けられるようにし、今まで町が負担してきた財源を大泉町の全ての子どもたちに使っていくという事です。

町立保育園(南・西保育園)を民営化することで
施設改修費用 国・・・1/2 事業者・・・1/4 の費用負担となるため 町の負担額は13.2億円→約3.3億円となる
保育園運営費 国と県からの補助が受けられるため 南保育園・・・6800万円→2300万円 (差4500万円) 西保育園・・・6500万円→1900万円 (差4600万円) 町の負担が年間9100万円減少

そういった不安な思いに対して丁寧な説明をするよう、教育委員会に求めています。

多くの保護者の皆様にお話を聞かせていただいたところ、環境の変化に伴う子どもへの負担や保育内容の変化、保育士の確保や雇用に関して心配されている保護者がたくさんいます。

民営化して財源をすべての子どもたちにシフトしていくことは悪いことではないと思います。ただ、民営化に対して、保護者の不安があるのも事実です。

保護者不安に対して丁寧な説明を求めます

一般質問の様子が動画で閲覧できます！



大泉町議会インターネット中継

検索

YouTubeで動画を配信！



大泉町議会ではより多くの方に私たちの活動を知っていただくために動画を作成して配信を始めました！
11月には2回目の動画が配信されます。

チャンネル登録をお願いします！